

令和7年度 学科改編 ～設置学科・コースの学習内容および生徒育成方針について～

地域園芸科

更級地域の主たる農産物(果樹・野菜)を教材として、地域農業の課題を解決できる知識と技術を習得する。GAPやスマート農業についての学習を取り入れ、科学的根拠に基づいた課題解決能力を身に付け、農業後継者及び農業の発展に寄与できる人材を育成する。

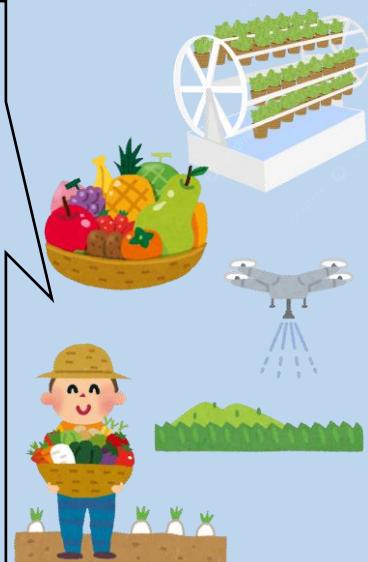
【フルーツテックコース】

川中島地域のモモや千曲市のアンズ、県内品種のリンゴやブドウを教材とし、GAPを取り入れた果樹栽培の技術を学ぶ。また、生育状況や管理の省力化を目指し、ドローンなどを活用したスマート農業に取り組む。

さらに、果樹園を開放し地域住民との交流を通して、果樹栽培知識・技術を深化させる。

【ベジテックコース】

野菜の水耕栽培装置やココバック施設を活用して、気候に左右されない栽培などスマート農業・GAPの研究に取り組み、急激に進化する栽培技術への対応を目指す。また、地域の伝統野菜の栽培・研究や交流農園運営の学習活動を通して、栽培技術の確立や継承及びその普及活動を目指し、野菜栽培の知識・技術を深化させる。



植物活用科

更級地域の主たる農産物(米、草花)を教材として、植物の栽培だけでなく活用について学習する。農業の多面的機能を活かした自然環境・生活環境の質向上に寄与する活動を通して、地域の環境課題を解決できる人材を育成する。

【アグリデザインコース】

米を中心とした穀物類を主たる教材として、作物栽培の技術や知識を学ぶ。また、水田水管理システム等デジタル装置を活用し、省力化した持続可能な農業生産について学ぶ。

さらに、自然環境や景観の保全に関する学習として地域の棚田を活用し、農業の多面的機能を活用する学習活動を実践する。

【フラワーデザインコース】

更級地域や千曲市周辺で盛んな切り花を主たる教材として、草花栽培の知識と技術を学ぶ。また、鉢花や花壇苗の栽培管理や花壇の作成、フラワーアレンジメント制作などの草花の利用をデザインする技術を学ぶ、地域へ実際に植栽として活用する活動に取り組む。

植物と人の関りを通して生活環境の質の向上を目指し、地域の活性化へつなげる学習に取り組む。



食農科学科

農産物の生産から加工・流通・販売に至るまでの流通と管理及びビジネスについて総合的に学習し、6次産業化を実践するための知識と技術を習得する。持続的・効果的に地域資源を活用できる経営感覚を身に付け、地域産業の発展と活性化に貢献できる人材を育成する。

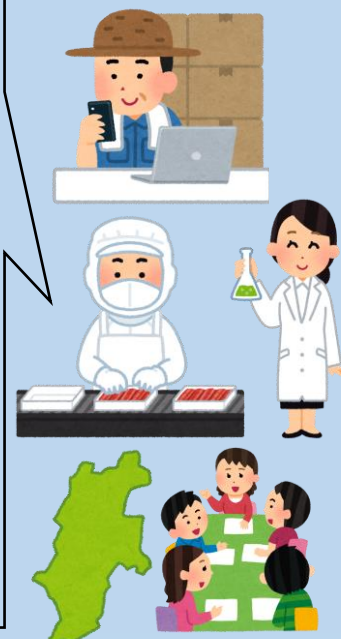
【フードサイエンスコース】

生産物の加工・販売を通して、生産物に新たな付加価値を与えるための知識や技術を学ぶ。また、食品の分析実験を通して科学的な視点を養い、実験技術・表現力・データに基づく論理的思考力の向上を目指す。

さらに、地域の農産物を活かした加工食品の製造・開発を通し、地域の食文化と農業の振興について学ぶ。

【フードビジネスコース】

農産物をはじめとする地域資源の活用や保護に関する学びを通して、地域社会や地域産業に新たな価値を生み出す産業人の育成を目指す。流通や経営、ビジネスの学びを通して経営的思考力を養い、作り手が持っている想いや価値・魅力の伝え方を学ぶ。自分たちで作る(栽培・加工)だけでなく、すでにある価値あるものを伝える(地域に届ける)ことを目指す。



育成したい生徒像(生徒育成方針) 「地域農業及び地域産業に主体的・創造的に貢献できる人材の育成」

- (1)「農業③学ぶ」ことにより、社会変化に柔軟に対応し持続可能な農業及び地域産業を支える人材
- (2)「農業④学ぶ」ことにより、多面的で汎用的な力を身に付け、将来農業分野のみならずその他の地域産業での就職や起業において、競争力を持った人材
- (3)「農業⑤学ぶ」ことにより、自らの生き方や地域社会の在り方を考え、自分自身と地域社会のウェルビーイングを実現できる人材

